

緑生瓦版

2010.09.01

第二十八号

ご当地グルメ情報!

今年は例年よりも残暑厳しく、まだまだ調査が辛く感じる日々が続きますが、皆さん体調を崩してはいませんか？私はこの夏、熊本へ足を運ぶ機会が多くありました。出張先での楽しみのひとつが土地の美味しいものに出会うことです。

熊本といえばからし蓮根や馬刺し、だご汁などが有名ですが、甘党の私にはいきなり団子の素朴な味がとても美味しく感じられました。

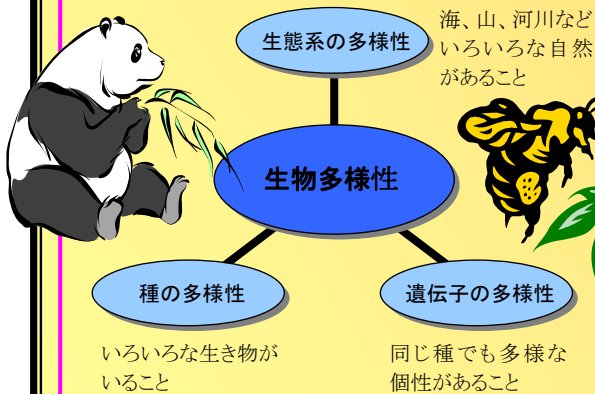
一緒に調査をしていた某先輩は「馬刺し祭りだ！」と称して暑いなか大量に味わい、少々痛い目を見てしまったようです。何事も程ほどが一番という事を学んだ熊本遠征でした。

北海道支所
今井 剛

緑生研究所って、どんな会社…？ ～ 生物多様性の巻 その1 ～

Q1. 「生物多様性」の意味は？

生物多様性は、生き物が持つ3つの多様性、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」を示しています。



Q3. 「生物多様性」の課題は？

日本の生物多様性は現在4つの危機にさらされています。生物多様性を保全・維持してゆくためには、これら4つの危機を取り除く必要があります。

開発や乱獲など、人間活動による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少

人間活動の縮小(里地里山などの手入れ不足等)による自然の荒廃

外来種や化学物質などの持ち込みによる生態系の攪乱

地球温暖化による種の絶滅や生態系の崩壊のおそれ

Q2. 「生物多様性」はなぜ重要なのか？

多くの生き物と同様に多様な自然環境が私たちの生活基盤となっています。さらに生活の中で、多くの恵み(以下に示す5つの生態系サービス)を得ています。生物多様性は私たちの生活に必要な不可欠なものなのです。

供給サービス

基盤サービス

調整サービス

保全サービス

文化的サービス



Q4. 国内での「生物多様性」の動きは？

国内では1993年に締結した「生物多様性条約」に基づき、1995年、2002年、2007年の3度にわたり「生物多様性国家戦略」を策定しましたが、2008年6月に「生物多様性基本法」が施行され、国家戦略の策定が法律でも義務づけられました。そして2010年3月16日に、生物多様性の保全と持続可能な利用を進めるための基本的な計画として「生物多様性国家戦略2010」が閣議決定されました。そのなかで4つの基本戦略が示されました。

- I 生物多様性を社会に浸透させる
- II 地域における人と自然の関係を再構築する
- III 森・里・川・海のつながりを確保する
- IV 地球規模の視野をもって行動する



Q5. 「生物多様性」における私たちの役割は？

生物多様性の保全と持続可能な利用を実現するためには、さまざまな立場からの積極的な行動とお互いの連携・協働が欠かせません。

国

調査や施策を重点化するとともに、全国スケールで目標を示して、生物多様性の損失を緩和するために各主体の行動を促す

地方公共団体

地域的なスケールで生物多様性を評価し、生物多様性地域戦略などの施策の立案に生かす

研究者や NGO

生物多様性の観測の充実や生態系サービスについての知見の蓄積などを通じて評価に関与・貢献する

企業

自らの経済活動が生物多様性に与える影響を把握し、評価して、影響を軽減する方策を考える

国民

自らの地域の生物多様性をどう保全・利用するかを考え、国、地方公共団体、企業、地域での合意形成と行動に関わる

Q6. 「生物多様性」への取り組みは？

企業として「生物多様性」へ取り組む場合、まず事業活動と生物多様性（自然環境）との関係性を把握することが大切です。「どのような形で何に影響を与えているのか」を知ることです。次はその影響を排除・縮小化するための方法を、実現の可能性も考慮しつつ検討してゆきます。企業に期待される保全活動としては以下の3つがあります。

1 直接影響を緩和する

- ・開発過程：土地開発
- ・操業過程：環境影響、敷地管理、開発・設計（製品やサービスの影響）

2 間接影響を緩和する

- ・原材料調達過程：採掘、採集、水資源
- ・投融资：金融、一般企業
- ・関係者の教育・啓発：従業員、取引先

3 社会貢献活動

- ・地域の生物多様性の保全
- ・環境教育
- ・NGO や専門家の支援



アンケートのお願い！

Q. 「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**緑生研究所（坪山）宛に FAX (042-487-4334)** をお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。
第二十九号は、十一月

一日の発行を予定しています。特集では今回基本的なことをお話しした『生物多様性』について、具体的な取り組みなどを紹介します。



まだまだ冷たい飲み物が美味しい時期ですが、最近健康志向のせい、炭酸飲料にも「オフ」や「ゼロ」の文字が目立ちます。厳密には「0」ではなく、厚生労働省の基準で 100ml あたり熱量なら 5kcal、脂質又は糖類なら 0.5g 未満であれば、「ゼロ」の表示が OK となります。身体には良いのかもしれませんが、炭酸飲料が大好きな私にとっては、味の違いが気になって仕方がありません。皆さんはいかがですか・・・

